

第2学年特別活動 学習指導案

日時 平成17年9月27日(火)5校時
学級 2年3組(男子18名 女子20名 計38名)
場所 2年3組教室
授業者 澤村 英明

1 主題名 学級活動 学ぶための制度と機会

2 主題について

(1) 主題観

学習指導要領の学級活動には「学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択に関すること」という項目があり、その中には、「望ましい職業観・勤労観の形成」「主体的な進路の選択と将来設計」という小項目がある。中学校1年生では、将来の夢や生き方、進路学習の必要性や内容、働く人びとの仕事のようにすや仕事に対する考え、進路計画の立て方を学び、自分の計画を立てるといったことを学んだ。その学習を踏まえて2年生ではより具体的な内容を学習していく。

この題材では、事前に職業について学習を行い、ある程度職業についての意識を高めておき、将来自分の希望する職業に就くために、中学校卒業後どのような学習の機会と手段があるかを学習し、進路についての考え方を高めていきたい。

(2) 生徒の実態

男女の仲は良い方であるが、女子に比べ男子の方に幼さが残っていて、多くの行事では、女子が中心になり物事を進めている。男子同士の仲は大変良く何事にも協力して行うことができる。女子は、私的なリーダー2名学級を引っ張っているため、力の弱い女子は、その2人に物事を言うことができない。

学級活動では、話し合いの力が不足しており、特に発表になると他人に押しつける傾向が見られる。話の聞き方、発表の仕方に関して、これからの指導が必要である。

進路に対しては、ほとんどの生徒が上級学校への進学を希望しているが、まだ、具体的に進路選択をしているものはほとんどいない。

5月に行ったQ-U調査では、進路意識が、全国14.5%、学年14.1%に対し学級は12.1%と共に下回っており、進路意識に対しての生徒達の低さを感じた。その結果をうけて今回進路に対しての学習を行い、これから3年生に向けて進路意識の高揚を図っていきたい。

生徒は、上級学校に対しては若干の興味を示しているが、就職や職業に関しては、ほとんど考えていない。ただし、将来自分がどのような人間になりたいという希望は持っている。夏休み明けに実施した、「生き方講座」では自分が希望した職種の話の聞くことができ職業に関して多少の興味・関心を持つことができた。

(3) 基礎・基本の定着

望ましい集団活動を通して、自分の将来について真剣に考え、その実現に向けて、各教科、道徳、総合的な学習の時間と連携し自主的、実践的な態度を育て人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

3 主題の目標

- (1) 学ぶための制度や機会を学習し、今後の進路学習に意欲的に取り組む態度を育てる。
- (2) 中学校卒業後に学ぶ道を考えさせ、それに向けての計画を立案する力を養う。

4 主題の評価規準と評価計画・指導計画

時	評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
		指導目標	(1) 卒業後の進路に関心をもつ (2) 上級学校について興味・関心をもつ (3) 自分の進路に関して考えを深める	(1) 学ぶ制度と機会について考える (2) 自らの適正を理解し、進路に生かせる (3) これまでの学習を今後の進路に生かせる	(1) 卒業後の自分の進路を発表できる (2) 自分の興味のある高校について調べ、発表できる
1	中学卒業後のさまざまな進路について知る	(1)	(1)	(1)	(1)
2	中学校卒業後の進路について、高等学校を中心に学ぶ 自分に合った進路を見つけ、その内容について考える	(2)	(2)		(2)
3	自分の力を高める方法について学ぶ	(3)	(3)	(2)	

5 本時の計画

(1) 目標

上級学校について興味・関心を持つことができる。
 自分の適正を理解し、自分にあった進路選択をすることができる。
 上級学校の特徴を理解することができる。

(2) 指導の構想

前時に学習した学ぶ制度と機会を踏まえて、高等学校についての学習を深める。生徒達は、県立高等学校の選抜方法は、1年生と2年生の1学期に学習している。しかし、普通高等学校と実業高等学校の違いなどは曖昧でよく理解していない。ここでは多くの資料を提示しながら、各高等学校の違いやその高等学校の特徴、卒業後の進路などをわかりやすく説明するとともに自分がどのような高等学校に適しているか自分の適正を考えさせながら、高等学校への理解や上級学校への興味・関心を高め、進路意識を深めていきたい。

(3) 評価の観点と具体的評価規準

	評価規準	評価場面（方法）	具体の評価の観点		
			A（十分満足できる）	B（概ね満足できる）	C 努力を要する生徒への手だて
関心・意欲・態度	上級学校について興味・関心をもつ	上級学校についての教師の説明をしっかりと聞いている（観察）	上級学校について興味・関心を持ちながら説明を真剣に聞いている	上級学校について興味・関心を持ちながら説明を聞いている	上級学校に興味・関心を持てるように理解しやすい言葉で説明をする
思考・判断	自分の適正を理解し、自分にあった進路選択をする	ワークシートにきちんと記入している（観察・机間指導）	自分の適正を理解し、自分にあった進路を考えながら選択している	自分の適正を考えながら、自分にあった進路選択をしている	机間指導を行い、つまづいている生徒へ適切なアドバイスを行う
知識・理解	上級学校の特徴を理解することができる	上級学校の特徴を資料などから理解している（観察・発表）	上級学校の特徴を理解し、自分に合った高等学校を選択している	上級学校の特徴を理解し、自分に合った高等学校を考えている	うまく理解できていない生徒には簡単な言葉で分かりやすく説明をする

(4) 展開

	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価場面(方法)
導入 7分	1 前時の確認	1 学ぶ制度と機会の復習と確認	・前時の内容を思い出しながら確認させる	
	2 学習課題の確認	2 ワークシートに書き込む	・しっかりと確認させる	
上級学校を詳しく知ろう				
展開 36分	3 上級学校の説明	3 資料を見ながら上級学校の説明を聞く	・集中できない生徒へは何度も注意する	・上級学校についての教師の説明をしっかりと聞いている (観察)
	4 自分の適正を知る	4 ワークシートを使い自分の適正について考える	・机間指導をしながらつまづいている生徒へアドバイスをする	・ワークシートにきちんと記入している (観察・机間指導)
	5 自分の進路について考える	5 自分の適正から自分に合った学校を考える	・適切なアドバイスをし、自分に適する学校を考えさせる	・ワークシートにきちんと記入している (観察・机間指導)
	6 上級学校の特徴を理解する	6 普通高校、実業高校の違い等を理解する	・よく理解できていない生徒へはきちんと説明する	・上級学校の特徴を資料などから理解している (観察・発表)
終結 7分	7 まとめ	7 教師の説明でまとめる	・きちんと聞かせる	
	8 評価	8 評価用紙に書き込む	・しっかりと記入させる	
	9 次時の連絡	9		